

普及振興会

3年後に2万棟へ

地盤補強の「ピュアパイル工法」

戸建て住宅の地盤を補強する「ピュアパイル工法」の普及振興会（墨田区）は都内で27日、全国



から指定施工会社20社の経営者らを招き懇談会を開催した。施工実績1000棟到達を記念して行ったもので、振興会の代表理事を務める田中啓三氏（テノックス）＝写真＝は「3年後に年間施工棟数2万棟、施工機台数240台を目指す」と話した。

同工法は、基礎工事の専門企業・テノックス（港区）と日本住宅保証検査機構の関連会社・JBサポート（千代田区）が共同で開発。セメントミルクだけで柱状体を築造し、地盤を補強する。従来の柱状改良工法と違いセメント系固化材と現地の土をかき混ぜる必要がないため残土が出ず、強度のばらつきを抑えるほか固化が早いといったことが特徴。日本建築総合試験所の性能証明を取得済み。

◇問い合わせ先＝電話 03(5624)7377